

令和3年度決算概要および第3期財政健全化プラン取組結果について

令和3年度決算の概要を取りまとめましたので、お知らせします。
また、第3期財政健全化プランの取組結果についても、併せてお知らせします。

1 令和3年度決算概要

(1) 令和3年度決算のポイント

ア 一般会計の規模

歳出総額は5,026億7,000万円となり、対前年比で675億1,900万円、11.8%の減となった。

令和2年度に実施した特別定額給付金の減の影響などにより、3年ぶりに減少に転じたものの、歳出規模は、令和2年度に次ぐ2番目の規模。

歳入総額	5,091億1,200万円 (対前年度比 △676億6,000万円、△11.7%)
歳出総額	5,026億7,000万円 (対前年度比 △675億1,900万円、△11.8%)

イ 実質収支の確保

一般会計の実質収支は、歳入において、市税や地方消費税交付金が予算に比べ増収となったことや、歳出において、効率的な予算執行に努めたこと等により、29億7,900万円を確保。(令和2年度：57億2,400万円)

ウ 将来負担の着実な低減

第3期財政健全化プラン(平成30～令和3年度)の主要目標として掲げた「主要債務総額の削減」は、令和3年度までに4,800億円程度まで削減する目標に対し、令和3年度末で4,590億円となり、プランの削減目標を達成。

また、全会計の市債残高は、対前年度比75億円の減。

(2) 健全化判断比率等

ア 健全化判断比率

実質公債費比率および将来負担比率については、いずれも前年度より改善。

実質公債費比率	11.2% (対前年度比△0.6P、早期健全化基準25.0%)
将来負担比率	116.0% (対前年度比△12.8P、早期健全化基準400.0%)

イ 資金不足比率

対象となる6会計でいずれも発生していない。

2 第3期財政健全化プラン取組結果

(1) 背景

本市の持続的発展につながる必要な投資と財政健全化とのバランスを取りながら着実に財政を運営していくため、平成30年度から令和3年度までの4年間を計画期間とする「第3期財政健全化プラン」を策定し、財政健全化に向けた取組みを進めてきたところ。

(2) 取組結果の総括

主要目標に設定した「主要債務総額の削減」について、適正規模の市債発行、債務負担行為の設定などに努めてきたことにより、目標値を下回る水準まで削減することができた。

また、これまでの本プランに基づく財政健全化に向けた取組みにより、その他の数値目標についても、実質公債費比率や将来負担比率など太宗の項目において目標値まで達することができた。

(参考) 主要債務総額の状況

削減目標：4,800億円程度まで削減 → 4,590億円まで削減

※「主要債務総額」とは、本市が独自に設定したものであり、財政運営や財政健全化に向けて考慮すべき次の4項目の合計。

- ・建設事業債等残高
- ・債務負担行為支出予定額（建設事業分）
- ・基金借入金残高
- ・国民健康保険事業累積赤字額

問い合わせ先

【令和3年度決算概要に関すること】

財政局財政部財政課 電話245-5073

【第3期財政健全化プランに関すること】

財政局財政部資金課 電話245-5072